

SAQ CSRサプライヤ評価表

項目	中項目		調査項目	4点	3点	2点	1点	0点	
サステナビリティ	サステナビリティ推進について	1	経営層によって承認された、CSRまたは、サステナビリティ方針がありますか？	先進的な動きに合わせ方針をアップデートしている。更にWebで公開している	方針を策定しており、Webで公開している	方針を策定している	方針を1年以内に策定予定	方針はない	
		2	CSRまたは、サステナビリティに関する推進部門および責任者を設置していますか？	設置しており、責任者は経営層である。また、Webで公開している	設置しており、責任者は経営層である。社内及び社外の限定された関係者（顧客など）に公開している	設置しており、責任者は経営層である。	1年以内に設置予定	設置していない	
		3	設問2について活動のレビューを実施していますか？	年に4回以上活動のレビューを行っている	年に2回活動のレビューを行っている	年に1回活動のレビューを行っている	活動はしているが、レビューは行っていない	活動もレビューも行っていない	※設問2で「設置していない」と回答した場合は、こちらを選択
		4	CSRまたは、サステナビリティ方針について社内で教育を実施していますか？	全従業員へ年2回以上教育し教育記録を管理している	年に1回、全従業員に対して教育をし教育記録を管理している	一部従業員に対してに教育をし教育記録を管理している	一部従業員に対して教育を行っているが、教育記録は管理していない	CSRの教育はしていない	
RBA行動規範	RBA行動規範 RBA行動規範に基づいた取り組みとして「アルバック・グループお取引先様行動規範」を発行しました。	5	「RBA行動規範」または「アルバック・グループお取引先様行動規範」の要求事項を経営層は理解していますか？	明確に理解しており、活動を実践している	明確に理解している	概要は理解している	一部理解している	理解していない	
		6	「RBA行動規範」または「アルバック・グループお取引先様行動規範」の要求事項を、従業員に対して伝達していますか？	全従業員に伝達した上で年1回以上教育もしている	全従業員に伝達している	一部従業員に伝達できている	1年以内に伝達する予定	伝達していない	
A.労働	1.強制労働の禁止 ■すべての労働者をその自由意思において雇用し、また、従業員に強制的な労働を行わせてはならない 注釈： 【強制労働】 自分の意思によるものでなく、他の者に強要されることによってする労働を意味し、労働酷使のような意味で使われることが多いです。 【奴隷労働】 労働する人間の人格を無視して強制されるような労働を意味し、労働の目的も意義もわからないままに強制される労働を指します。 【人身売買】 弱い立場にある人々を搾取する目的で、強制的な手段や暴力、脅迫、誘拐、詐欺行為を用いて又は脆弱な立場に乗じて、人を獲得・輸送・受け渡ししたり、労働を強いたり、奴隷化したりすることです。	7	強制労働、奴隷労働、拘束労働または人身売買による労働力を禁止する方針がありますか？	先進的な動きに合わせ方針をアップデートしている。更にWebで公開している	方針を策定しており、Webで公開している	方針を策定している	方針を1年以内に策定予定	方針がない	
		8	労働者に、就業時、不合理な移動（居住、移転等）の制限を課すなど労働を強制させないための方針はありますか？	先進的な動きに合わせ方針をアップデートしている。更にWebで公開している	方針を策定しており、Webで公開している	方針を策定している	方針を1年以内に策定予定	方針がない	
		9	労働者は、自身の意思に基づいて雇用され、離職できる旨が就業規則等に記載されていますか？	記載されており、労働者にも伝達している	記載されている	一部（強制労働や奴隷労働、人身売買）を織り込んだ情報が記載されている	1年以内にその旨を織り込んだ規則を策定予定	記載されていない	
		10	すべての労働者（外国人労働者も含む）と、労働者が理解できる言語で、雇用条件を記載した書面による雇用契約書を締結していますか？	本人が理解できる言語で締結している	社内公用語の雇用契約書で締結 ※翻訳を行い労働者が理解できるように努めている	労働条件通知書のみ母国語で発行している	特定の言語で締結している	分からない	
		11	労働者（技能実習生を含む）の身分証明書、パスポートを、本人ではなく、貴社（雇用者）・人材派遣業者・労働請負業者（該当する場合）で保管していますか？ ※コピーは問題ありません	保管方法に関するポリシーや手順が明確に定められており、保管も行っていない	パスポートを含め、保管している証明書はない または現地法により保管している	自身での管理が難しいため、個人の鍵付きロッカーで保管している	パスポートを含め、保管している証明書がある	分からない	

SAQ CSRサプライヤ評価表

項目	中項目		調査項目	4点	3点	2点	1点	0点
A.労働	1.強制労働の禁止	12	貴社ならびに人材斡旋業者が新たに雇用する労働者から、就職斡旋手数料または雇用に関わるその他手数料を支払わせる行為はありませんか？ 外国人労働者がいない場合は、「非該当」を選択ください。	支払うケースもなく、文書で明確に定められている	支払うケースはないが、1年以内に文書策定予定	支払うケースはないが、文書では定められていない	本人が人材紹介会社に支払っているか確認できていない	実態を把握できていない
	2.若年労働者	13	児童労働(15歳未満)をさせていませんか？	雇用しておらず、文書で明確に定められている	雇用していないが、1年以内に文書策定予定	雇用していない	過去に雇用してしまっ可能性があった	実態を把握できていない
		14	18歳未満の従業員を健康と安全が危険にさらされる業務(夜勤や時間外勤務を含む)に従事させていますか？ 18歳未満の労働者がいない場合は、「非該当」を選択ください。	夜勤・時間外労働・危険作業はさせておらず、文書化されている	夜勤・時間外労働・危険作業はさせていないが、1年以内に文書策定予定	夜勤・時間外労働・危険作業はさせていないが、文書化されてない	危険作業を一部させたことがある	実態を把握できていない
	3.労働時間	15	労働時間は法令および労働協定を遵守できていますか？	管理システムを構築し、遵守に努めている	1年以内に管理システムを構築予定で、遵守に努めている	管理システムは構築していないが、遵守に努めている	時々遵守できていないことがある	遵守していない
		16	労働者が7日間に1日以上以上の休日を取得できるよう管理されていますか？	文書化され、管理し取得できている	管理・取得をでき、1年以内に文書化予定	取得できるよう管理しているが、一部の労働者は、取得できていない	取得できるよう管理しているが、多くの労働者は、取得できていない	管理できていない
	4.賃金および福利厚生	17	懲戒処分としての賃金からの控除を行っていますか？	控除を行っておらず、就業規則等に控除を行わないことを定めている	控除を行っていない。また、就業規則等より文言削除予定	控除を行っていないが、就業規則等より文言削除予定はない	就業規則等に沿って、控除を行う	就業規則等では記載はないが、控除を行う場合がある
	18	労働者に給与が適切に支払われていることを説明し、給与明細が配布されていますか？	給与の改訂があった場合などは適切に(書類または口頭で)説明をし、配布をしている	入社時に給与の支払いについて説明をし、給与明細も毎月配布している	適切に給与が支払われ、給与明細も配布している	時々給与明細が配布されないことがある	配布していない	

SAQ CSRサプライヤ評価表

項目	中項目		調査項目	4点	3点	2点	1点	0点
A.労働	5.差別の排除／ハラスメントの禁止／人道的待遇 ■従業員に対し差別やハラスメントのない職場づくりに尽力する 注釈： 差別対象となりうるものは、人種、肌の色、年齢、性別、性的指向、性同一性と性表現、民族または国籍、障害の有無、妊娠、宗教、所属政党、組合員であるかどうか、軍役経験の有無、保護された遺伝情報、結婚歴などである。	19	労働者に対するハラスメント（精神的・肉体的な抑圧や虐待）、セクシャルハラスメントなど非人道的な待遇を禁止する方針があり、かつ周知されていますか？	方針があり、全従業員に周知し、事象があった場合は仕組みで是正処置をしている	方針があり、全従業員に周知し、事象があった場合は仕組みはないが是正処置をしている	方針があり、全従業員に周知している	方針はあるが周知されていないまたは方針はないがポスター等で周知している	方針がない
		20	左記注釈等に基づく差別を禁止する方針がありますか？	方針が明確に全従業員に示され、いかなる差別もない	方針があるが差別事例が過去にあり、適正な改善記録がある	方針があるが差別事例が過去にあり、適正な改善記録がない	方針がないが1年以内に策定予定	方針がない
	6.結社の自由及び団体交渉 ■現地法に従い、会社は、団体交渉を行い、また平和的集会に参加するために労働者自身が選択した労働組合を結成し、また労働組合に加入するすべての労働者の権利を尊重し、また、それらの活動を差し控える労働者の権利も尊重するものとします。 注釈： 差別、報復、脅迫、またはハラスメントを恐れず、会社との意思疎通を図り、情報共有できるようにします。すべての労働者は、労働組合を自分の意志で結成し、加入や活動も自由とする	21	過去に労働組合の結成または参加を禁止する事例はありましたか？	人権方針等で結社の自由を認めており、結成や参加を禁止した事例はない。Webで開示もしている	人権方針等で結社の自由を認めており、結成や参加を禁止した事例はない	人権方針等で結社の自由の記述はないが、結成や参加を禁止した事例もない	労働組合活動への参加を禁止した事がある	労働組合の結成を禁止した事例がある
B.安全衛生	1.労働安全衛生 ■会社や労働者の安全を確保するために、潜在的な危険源は特定・評価され、職業上の危険性への曝露を排除または最小限にするヒエラルキーコントロールを通じて危険性の軽減を図るよう、努めます。 注釈： ヒエラルキーコントロールとは、職場のリスク管理において、労働者を危険や健康被害から守るためにリスクを減少させるための手法や戦略を体系的に整理したものです。このアプローチでは、リスク管理手法を効果的な順序に並べ、最も効果的な手法から順に実施することを推奨しています。	22	職場の労働安全に関するリスクを特定し、必要に応じた措置を行い、ヒエラルキーコントロールを通じて最小限に抑える活動を実施していますか？	仕組みがあり、リスクアセスメント等を通じて、最小限に抑える活動を実施している	リスクを特定し、それに対する対策措置を行っているが、確立された手法でのリスク低減活動ではない	一部のリスクを特定し、それに対する対策措置を行っているが、確立された手法でのリスク低減活動ではない	リスクは特定しているが、必要な対策措置についてはこれから実施	何もしていない
		23	ジェンダーに対応した対策として、妊娠中の女性・育児中の女性に対して、危険性のある作業担当から外す、または、当該リスクを無くす処置を投じる等の対応を取っていますか？	文書化し、労働基準法に定める就業制限を遵守している	労働基準法に定める就業制限を遵守している	危険作業はさせていないが、労働基準法に定める就業制限を一部遵守できていない	危険作業については1年以内に従事させないように改善予定	対応を取っていない
	2.緊急時への備え ■緊急事態や非常事態に備え、緊急計画と対応手順が特定・評価され、従業員への通知と訓練実施を行います。 防災訓練は適切な頻度で行われ、施設内には緊急情報がわかりやすい表示を行います。	24	緊急時（地震・火災他）の対応手順・計画等を作成し、訓練を定期的に行っていますか？ ※避難訓練実施日の不在者(出張、出向、休暇)は対象から除いて考えていただいて構いません	年に1回、全従業員に実施している	年に1回、一部の従業員を除き実施している	数年に1回は全従業員に実施している	数年に1回、一部の従業員を除き実施している	実施していない
	25	避難経路を把握していますか？	避難・誘導標識をしたうえで、避難訓練にてすべての従業員に伝達している	避難・誘導標識をしたうえで、避難訓練にて一部の従業員に伝達している	避難・誘導標識はないが、避難訓練にてすべての従業員に伝達している	避難・誘導標識はないが、一部の従業員に伝達している	把握できていない	
	3.労働災害および疾病 ■労働災害および疾病の予防・管理・追跡・報告のための手順が確立する事で、労働者の職場復帰を促進します。 注釈： 労働者が、報復を恐れることなく自己の意思で危険からの退避を行い、危険な状況が緩和されるまで復帰しない事を許可することが必要。	26	労働災害や疾病の予防管理のための手順があり、対応していますか？	手順があり、十分な措置が取られている。また、発生事案ごとに対策を行っている	一部の手順を確立しており、予防管理活動を実施している	手順はないが、都度対応し、手順を1年以内に策定予定	手順はないが、重要事案のみ対策を行っている	手順の確立・対応ともにできていない

SAQ CSRサプライヤ評価表

項目	中項目		調査項目	4点	3点	2点	1点	0点
B.安全衛生	4.産業衛生	27	必要な場合、正しく保守された個人保護具を提供していますか？ ※該当しない場合は、非該当をご選択ください。	無償で提供し、使用期限を守り、すべての保護具の点検・交換を実施している	無償で提供し、使用期限を守り、保護具の点検・交換を一部実施している	無償で提供し、使用期限を守っているが、点検・交換は実施できていないことがある	無償で提供しているが、使用期限は管理できていない	把握できていない
	5.身体に負荷のかかる作業	28	身体の負荷にかかる作業を特定し、定期的に管理していますか？ 注釈： 重労働(手作業による原材料の取り扱い、手動での重量物運搬作業) 反復作業・連続作業(力の必要な組立作業、データ入力) 長時間の不自然な姿勢による作業 など	作業を特定し、年に1回以上管理し、適正チェックを実施している	作業を特定し、年に1回以上管理しているが、適正チェックは実施していない	作業を特定し、不定期だが管理している	一年以内に作業を特定予定	特定も管理もしていない
	6.機械の安全対策	29	生産機械その他の機械の安全性を評価し、労働者の怪我を防止する適切な措置を行い、適切な保守管理をしていますか？ ※該当しない場合は、非該当をご選択ください。	毎月のパトロールや日時点検する仕組みがあり、十分な対策が講じられ、措置している	日時点検する仕組みがあり、十分な対策が講じられ、措置している	仕組みがあり対策が講じられ、措置している	一年以内に仕組みを構築予定	措置していない
	7.衛生設備、食事、および住居	30	労働者に対して、衛生的な施設管理ができていますか？	衛生的な施設管理ができており、さらに追加の設備やサービスも提供されている	すべての施設は衛生的に管理できている	大部分の施設は衛生的に管理されているが、一部できていない	一部の施設は衛生的に管理されているが、全体的にはできていない	できていない
		31	労働者に提供している寮（借り上げ社宅も含む）は、日常生活に必要な照明・換気・温水シャワー・スペース・個別セキュリティ付き収納設備が確保されていますか？ 寮がない場合は「非該当」を選択してください。	安全かつ衛生的な状態が確保・維持されており、利用者の声も反映している	安全かつ衛生的な状態が確保されている	大部分は安全かつ衛生的な状態が確保されているが、一部できていない	一部は安全かつ衛生的な状態が確保されているが、全体的にはできていない	確保できていない
	8.安全衛生に関する連絡	32	労働者に対して、理解できる言語で安全衛生に関する情報を明確に伝達していますか？	適時理解できる言語で伝達し、ポスター掲示等も行っている	大部分の情報は理解できる言語で伝達している	一部の情報は理解できる言語で伝達している	理解できる言語ではないが適時伝達している	伝達していない

SAQ CSRサプライヤ評価表

項目	中項目		調査項目	4点	3点	2点	1点	0点	
C.環境	方針	33	環境保全に関する「企業理念」「方針」「目標」がありますか？	すべての方針等があり、Webで公開している	すべての方針等はあるが、Webでは公開していない	一部ある	1年以内に策定予定	すべてない	
	目標	34	環境保全に関する責任者、組織、委員会を設置し、環境負荷低減目標を持った適切な環境管理を行っていますか？ レビュー含む	体制があり、年に2回以上結果に対して評価をしている	体制があり、年に1回結果に対して評価をしている	体制はないが実施している	1年以内に体制を整える予定	実施していない	
	環境に関する取り組み	35	環境保全に関する緊急事態への対応の仕組みがあるか？方法が明確化され、定期的に訓練していますか？ ※該当する業務がない場合は、非該当をご選択ください。	手順化された仕組みがあり、年に1回以上訓練も行い、教育記録を保管している	手順化された仕組みがあり、年に1回以上訓練も行い、教育記録は残していない	手順化された仕組みはあるが、定期的な教育訓練は実施できていない	手順化された仕組みはないが、教育訓練はしている	仕組みの構築がされておらず、訓練も実施していない	
	1. 環境許可と報告 ■すべての環境許可証および認可書を取得・維持し、最新の状態に保ち、その運用および報告に関する要求事項を遵守します。		36	環境保全に関する取り組みについて内部監査の仕組みがありますか？ ※該当する業務がない場合は、非該当をご選択ください。	仕組みがあり、監査結果をもとに是正措置も行っている	仕組みがあり、監査結果をもとに一部是正措置が出来ていないことがある	仕組みがあり、実施記録もある	1年以内に仕組み構築予定	仕組みがない
			37	環境関連法令を遵守する仕組みがあり、必要な許認可・登録書等を取得・維持し法令遵守していますか？ ※該当する業務がない場合は、非該当をご選択ください。	社内外の監査を行い、必要な許認可が行われているか、確認するプロセスがあり、法令遵守している	必要な許認可が行われているか、確認するプロセスがあり、法令遵守している	法令遵守していることを、年に1回確認している	1年以内に仕組み構築予定	把握できていない
			38	汚染物質の排出と廃棄物の発生を最小限にするための維持管理を実施していますか？ ※該当する業務がない場合は、非該当をご選択ください。	ともに不適合・是正予防措置の仕組みがあり、実施記録もある。Webで開示もしている	ともに不適合・是正予防措置の仕組みがあり、実施記録もある	仕組みはあるが、最小限に抑える活動は出来ない	1年以内に仕組み構築予定	仕組みがない
	2.汚染防止と資源保護 ■汚染物質の排出と廃棄物の発生を最小限に抑えるため、発生源の特定、プロセスの変更、およびリサイクルなどの施策を実施します。 天然資源の使用を最小限に抑えるため、代替物質の使用、再利用、およびリサイクルを実践します。		39	天然資源を最小限にするための維持管理を実施していますか？	仕組みがあり、実施記録もある。Webで開示もしている	仕組みがあり、実施記録もある	仕組みはあるが、最小限に抑える活動は出来ない	1年以内に仕組み構築予定	仕組みがない
	3. 有害物質 ■人体や環境に危険をもたらす物質を特定、表示、および管理し、安全な取り扱い、輸送、保存、使用、リサイクルまたは再利用、および廃棄を確実に行います		40	有害物質を正しく取り扱うための仕組みがありますか？ ※該当する業務がない場合は、非該当をご選択ください。	不適合・是正予防措置の仕組みがあり、実施記録もある。Webで開示もしている	不適合・是正予防措置の仕組みがあり、実施記録もある。	法令を遵守した有害物質管理を行っているが仕組みがない	1年以内に仕組み構築予定	仕組みがない
	4.固形廃棄物 ■固形廃棄物（有害物以外）の特定、管理、削減、および責任をもって廃棄またはリサイクルを行うための体系的なアプローチを実施します。		41	固形廃棄物を正しく取り扱うための仕組みがありますか？ ・廃棄物管理（一般的なごみ） ・リサイクルの契約・処理 ・環境保全に関する教育	仕組みがあり、実施記録もある。Webで開示もしている	仕組みがあり、実施記録もある	仕組みはあるが、最小限に抑える活動は出来ない	1年以内に仕組み構築予定	仕組みがない

SAQ CSRサプライヤ評価表

項目	中項目	調査項目	4点	3点	2点	1点	0点
C.環境	5.大気への排出 ■ 因気への排出物（揮発性有機化合物、エアロゾル、腐食性物質、微粒子、オゾン層破壊物質、および燃焼副産物）は必要な特性評価を行い、定期的に監視し、制御、必要な処理を行った後に排出します。 □ オゾン層破壊物質はモントリオール議定書および規制に従い、効果的な管理を行います。 □ 大気排出管理システムのパフォーマンスを定期的に監視します。 注釈： モントリオール議定書とは、オゾン層を破壊する恐れのある物質を指定し、これらの物質の製造、消費、及び貿易を規制する事を目的とし、カナダで採択されたものです。	42 大気への排出について、その設備が正しく稼働しているか監視し、最適なパフォーマンスを維持できていますか？ ※ 製品を作る過程において、該当する業務がない場合は、非該当をご選択ください。	監視システムにより、異常が発生した場合、排出出来ない設備となっている。法令要求より高い保守・点検を実施している	監視システムにより、異常が発生した場合、排出出来ない設備となっている。法令で定められた保守・点検を実施している	異常が発生した場合、排出出来ない設備となっている。法令で定められた保守・点検を実施している	法令で定められた保守・点検を実施している	できていない
	6. 資材の制限 ■ 製品および製造（リサイクルおよび廃棄物のラベリングを含む）における特定の物質の禁止または制限に関する、すべての適用される法律、規制、および顧客要求事項の遵守に努めます。	43 製品含有化学物質(CiP)を管理する仕組みがありますか？ ※ 該当する業務がない場合は、非該当をご選択ください。	体制があり、対応方針、活動目標が明確である。さらにWebで公開している	体制があり、対応方針、活動目標が明確である	手順があり、CiP調査依頼が来ればその手順に沿って実施・回答している	責任部門は明確だが、手順がないため、都度対応となる	仕組みがないため、CiP調査依頼が来ても対応できない
		44 アルバックのグリーン調達基準に対応していますか？ ※ 該当する業務がない場合または弊社からの要求がない場合は、非該当をご選択ください。	アルバックだけではなく、あらゆる顧客からの調査に80%以上の回答ができています。	アルバックからの調査には約60%程度の回答率である。	アルバックからの調査には約40%程度の回答率である。	最新のアルバックグリーン調達基準を確認済だが、ほぼ調査には対応できない。	最新のアルバックグリーン調達基準を確認できていない。
	7. 水の管理 ■ 源泉、水の使用・排出を文書化、特性評価、監視することで、節水機会を見つけ、水の管理プログラムを実施します。 ■ 廃水は特性評価、監視、制御され、排出または廃棄する前に必要な処理を行います。 ■ 廃水処理システムと制御システムのパフォーマンスを定期的に監視し、最適なパフォーマンスと抑制の遵守を確保します。	45 水使用量の削減に関する方針や目標がありますか？ ※ 製品を作る過程において、水を使用しない場合は、非該当をご選択ください。	先進的な動きに合わせ方針や目標をアップデートしている。更にWebで公開している	方針等を策定しており、Webで公開している	方針等を策定している	使用量は把握済。1年以内に目標を策定予定	方針や目標はない
		46 水の使用・排出について監視し、節水活動を行っていますか？ ・水質汚濁防止法（排水検査） ・下水道法 ※ 製品を作る過程において、該当する業務がない場合は、非該当をご選択ください。	仕組みや節水活動の実施記録があり、成果がでている	仕組みがあり、節水活動の実施記録がある	使用量は把握済。1年以内に活動開始予定	使用量は把握したが、分析はできていない	仕組みがない
		47 【廃水処理施設がある場合】 廃水について、その設備が正しく稼働しているか監視し、最適なパフォーマンスを維持できていますか？ ・水質汚濁防止法（排水検査） ※ 該当する業務がない場合は、非該当をご選択ください。	監視システムにより、異常が発生した場合、廃水出来ない設備となっている。日常点検、月次で計測系校正、年次点検を実施している	監視システムにより、異常が発生した場合、廃水出来ない設備となっている。日常点検を実施し月次で計測器の校正も行っている	監視システムはないが日次点検を実施し月次で計測器の校正も行っている、	監視システムはないが日次点検を実施しているが、計測器の校正は不定期である。	できていない

SAQ CSRサプライヤ評価表

項目	中項目		調査項目	4点	3点	2点	1点	0点
C.環境	8. エネルギー消費および温室効果ガスの排出 ■温室効果ガス削減目標を設定し、エネルギー消費と温室効果ガス排出を追跡、文書化し、記録します。又、要請される場合は、開示に努めます。 ■エネルギー効率を向上し、エネルギー消費と温室効果ガス排出を最小化する方法を積極的に追求します。	48	CO2をはじめとする温室効果ガス（GHG）削減を実現する仕組みがありますか？	先進的な動きに合わせ方針をアップデートしている。更にWebで公開している	方針を策定しており、Webで公開している	方針を策定しており、関連する問い合わせに対応している	排出量は把握済。1年以内に削減目標を策定予定	方針はない
D.倫理	1. ビジネスインテグリティ ■すべてのビジネス上のやりとりで最高水準のインテグリティを維持しなければなりません。会社は、あらゆる種類の贈収賄、腐敗、恐喝、および横領を一切禁止する方針を保持します。 注釈： インテグリティとは、誠実さ、正直さ、道徳的な原則に基づく行動の一貫性などを指します。	49	誠実な事業活動を行うため、贈収賄、腐敗行為、賄賂、恐喝、および横領について、そのすべて（約束、申し出、許可、提供、受領など）を禁止する方針がありますか？	方針があり、Webで公開されている。また、全従業員に禁止するように周知している	開示はしていないが、社内方針はある。全従業員に禁止するように周知している	明確な方針はないが、従業員に対して周知している	方針のみある	方針も周知もしていない
	2. 不適切な利益の排除 ■賄賂またはその他の不当もしくは不適切な利益を得るための手段を、約束、申し出、許可、提供、または受領しません。 腐敗防止に関する法令の遵守を確保するためのモニタリングおよび手順を整備します。	50	腐敗防止に関するモニタリングをしていますか？	社内外の通報制度を設け、モニタリングをし、対策を講じている	内部通報制度を設け、モニタリングをし、対策を講じている	教育を行っており、再発防止の仕組みもある	教育（事例の共有）は行っているが、再発防止の仕組みはない	分からない
	3. 情報の開示 ■すべての商取引は、透明性をもって実施され、会社の会計帳簿や記録に正確に反映されるものとします。 労働、安全衛生、環境活動、ビジネス活動、組織、財務状況、および業績に関する情報は、適用される規則と一般的な業界慣行に従って、開示します。 サプライチェーンにおける記録の改ざん、または状況または慣行の虚偽表示は容認されません。 注釈: 事例 環境事故、顧客情報流出	51	CSR上の重大な事象が発生した場合、情報を開示していますか？	発生した事象を確認し、社内で検討、迅速に顧客等の関係者に通知をし、Webに公開する体制がある	発生した事象を確認し、社内で検討、社外関係者に通知する体制がある	発生した事象を確認し、社内で検討、社外関係者に一部通知する体制がある	対応策を1年以内に策定予定	発生した事象を確認、開示する体制がない
	4. 知的財産 ■知的財産権を尊重し、技術やノウハウの移転は知的財産権を守る形で行わなければなりません。また、顧客および自社のお取引先様の情報も保護します。	52	知的財産権を守るための社内ルールはありますか？また、教育を実施していますか？	社内ルールがあり、全従業員へ年1回以上教育し教育記録を管理している	社内ルールがあり、一部従業員へ年1回以上教育し教育記録を管理している	一部従業員に対して教育を行っており、教育記録は管理していない	社内ルールはあるが、教育を実施していない	教育はしていない
	5. 公正なビジネス、広告、および競争 ■公正なビジネス、広告、および競争の基準を維持しなければなりません。	53	公正なビジネス、広告、および競争に関する法規制を特定し、遵守していますか？	企業倫理行動基準があり、Webに公開している	企業倫理行動基準があるが、Webには公開していない	倫理に関する行動基準や規範があり、従業員に教育を実施している	関連する法令や社会規範は把握しているが、具体的に倫理に関する行動基準や規範がない	関連する法令や社会規範がわからない
	6. 身元の保護と報復の排除 ■法律で禁止されていない限り、自社のお取引先様および従業員による内部告発における機密性、匿名性、および保護を確保するプログラムを維持します。 会社は、その従業員が報復の恐れなしに懸念を提起できるコミュニケーションプロセスを保持する必要があります。	54	不正行為の懸念、仕事に対する不満や改善要請等について労働者が報復の恐れなしに知らせることができる手段（内部通報制度など）はありますか？ これらは、通知者の匿名性や通知内容の機密性が確保されることを前提としています。	内部通報窓口に加え、外部通報窓口が設けられており、通報者の匿名性や通知内容の機密性が確保されている	内部通報窓口があり、通報者の匿名性や通知内容の機密性が確保されている	社内外の通報専用窓口はないが、通報者への配慮はされている	社内外の通報専用窓口はないが、通報者への配慮が不十分なケースがある	社内外の通報窓口がなく、苦情や通報を受け付けた事例がない

SAQ CSRサプライヤ評価表

項目	中項目		調査項目	4点	3点	2点	1点	0点
D倫理	7.責任ある鉱物調達 ■ 自社が製造および購入する製品に含まれるタンタル、錫、タングステン、金、およびコバルトの原産地と調達経路について、経済協力開発機構（OECD）の「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンの為にガイドライン」、または同等に認知されたデューデリジェンスの枠組みに合致した方法で調達されている事を、合理的に保証する方針を保持し、デューデリジェンスの実施に努めます。 注釈： デューデリジェンスとは、事前に慎重な調査や分析を行うことを指します。このプロセスを通じて、関連するリスクや潜在的な問題点を特定し、適切な意思決定や問題発生リスクを最小化する為に、要因の調査や審査を行い、対策を実施する事です。紛争鉱物とは、様々な製品において使用されている鉱物が、劣悪な環境下で採掘されていたり、紛争地域における武装勢力の資金源となっていることへの懸念があり、米国・欧州等では、鉱物（タンタル、錫、タングステン、金等）について武装勢力との関連について調査することを義務付けた規則が発行されています。	55	紛争地域及び高リスク地域から不法に採掘された3TG（タンタル、錫、タングステン、金）及びコバルトを調達しない方針とそれを合理的に保証できるプロセスがありますか？ ※該当する業務がない場合は、非該当をご選択ください。	文書化された方針とデュー・デリジェンスを含めた合理的に保証できるプロセスがある	文書化された方針があり、合理的に保証できるプロセスが一部ある	文書化された方針はないがプロセスがある	方針を1年以内に策定予定	方針、プロセスともにない
		56	顧客からの要請されている場合に、紛争鉱物の調査対応をしていますか？ ※調査依頼を受けていない場合は「非該当」を選択してください	すべての製品に対し、自主的に鉱物調査を行っており、顧客からの要請に回答している	一部の製品に対し、自主的に鉱物調査を行っており、顧客からの要請に回答している	調査依頼に対し、都度対応している	調査回答はできていないが、1年以内に回答予定	対応していない。調査依頼を受けた場合は、回答不可としている
	8.プライバシー ■ 自社のお取引先様、顧客、消費者、および従業員など、取引を行う者全員の個人情報に関してそれらを保護するための合理的な措置を確保します。個人情報の収集、保存、処理、移転、および共有を行う場合、プライバシーおよび情報セキュリティに関する法規制の要件を遵守します。	57	個人情報を不正に利用する行為、および個人情報の流出が起ころぬよう適切な管理をしていますか？	適切な仕組みがあり、教育も（年1回）実施している。	過去に流出事例があったが、現在は漏洩しない仕組みとなっている	過去に流出事例はないが、現在仕組みを構築中	過去に流出事例があり、現在仕組みを構築中	実態を把握できていない
		58	機密情報を不正に利用する行為および機密情報の流出が起ころぬよう適切な管理をしていますか？	ログ監視ができるシステムなどを導入しており、問題のないことを確認している。また、教育（年1回）を実施している	漏洩しない仕組みがある。	過去に流出事例はないが、現在仕組みを構築中	過去に流出事例があり、現在仕組みを構築中	実態を把握できていない
Eマネジメントシステム	1. 企業のコミットメント： ■ 経営層によって承認された、デューデリジェンスと継続的な改善に対し、コミットメントを確約する人権、安全衛生、環境と倫理に関する方針を策定します。方針は公開し、労働者が理解できる言語で、利用可能な手段で伝達します	59	労働者の人権・安全衛生、環境、倫理について、経営層によって認められた方針はありますか？	すべて方針があり、社内外に公開し教育実施済	すべて方針はあるが、社内のみ教育済	すべて方針はある	一部方針はある	方針がない
	2. 経営者の説明責任と責任 ■ マネジメントシステムと関連プログラムの確実な実施に責任を持つ上級管理職と責任者を明確に特定します。上級管理職は、定期的にマネジメントシステムの状況をレビューします	60	労働者の人権、安全衛生、環境、倫理の管理システムの実施や法規制・規範の遵守のため、担当組織・担当者の責任と権限が適切に定義され、割り当てられ、定期的に経営層へレビューされていますか？	年に2回以上活動のレビューを行っている	年に1回活動のレビューを行っている	年に1回以上、一部の活動レビューを行っている	活動はしているが、レビューは行っていない	活動もレビューも行っていない
	3. 法的要件および顧客の要件： ■ 本規範の要件を含めて、適用される法令要件および顧客要求事項を特定、監視、認識するプロセスを導入または確立します。 4. リスク評価とリスク管理： ■ 法令遵守、環境、安全衛生および労働慣行および倫理リスクを特定するプロセスを導入及び確立します。特定されたリスクを管理し、規制の遵守を確保するために適切な手順と物理的制御を実施します。	61	労働者の人権・安全衛生、環境、倫理について、法律や顧客要求を特定・監視・理解したうえでリスクを特定・評価・最小化・緩和・制御するための適切・効果的な管理プロセスが存在し実施していますか？	プロセスがあり年に2回以上実施している	プロセスがあり年に1回以上実施している	プロセスが一部あり、年に1回以上実施している	一部のプロセスしかない	プロセスがない

SAQ CSRサプライヤ評価表

項目	中項目		調査項目	4点	3点	2点	1点	0点
Eマネジメントシステム	5. 改善目標: ■ 社会、環境、安全衛生のパフォーマンスを改善するための目標、ターゲットおよび実施計画を明文化します。 目標達成の為にパフォーマンス評価を定期的に行います。	62	労働者の人権・安全衛生、環境、倫理について、目標と実行計画を明文化し、定期的に達成度の評価をしていますか？	年2回以上評価・改善を実施している	年1回以上評価・改善を実施している	一部のカテゴリにおいて、評価・改善を年1回以上実施している	評価はしているが、改善はこれから実施	評価していない
	6. トレーニング: ■ 会社の方針、手続きおよび改善目標で設定した事項を実施し、適用される法規制の要求事項を満たすための管理職および労働者への教育訓練プログラムを確立します。	63	労働者の人権・安全衛生、環境、倫理について、従業員に対し改善目標で設定した事項に関する教育を実施していますか？	全従業員へ年1回以上教育し教育記録も管理している	一部従業員に対して教育をし教育記録を管理している	一部従業員に対して教育を行っている	1年以内に教育の仕組みを構築予定	教育はしていない
	7. コミュニケーション: ■ 会社の方針、実践、期待およびパフォーマンスに関する明確で正確な情報を、労働者、自社のお取引先様および顧客に伝達するためのプロセスを確立します。	64	労働者の人権・安全衛生、環境、倫理についての方針、活動内容、実績について、従業員・貴社取引先・顧客に伝達するプロセスがあり実践していますか？	伝達するプロセスがあり、方針、活動内容、実績をWebで開示している	伝達するプロセスがあり、方針、活動内容のみWebで開示している	社内のみ伝達するプロセスがある	1年以内に伝達の仕組みを構築予定	伝達するプロセスがない
	8. 労働者/ステークホルダーの関与と救済へのアクセス: ■ 関連する場合又は必要な場合、労働者、その代表者、およびその他のステークホルダーとの、継続的な双方向コミュニケーションの為にプロセスを確立します。このプロセスは、本規範で定める業務慣行と条件についてフィードバックを得て、継続的改善を促進することを目的としたものでなければなりません。労働者は報復や仕返しを恐れることなく苦情およびフィードバック出来る安全な環境を提供します。	65	労働者の人権、安全衛生、環境、倫理に関する実施事項や条件について、従業員からのフィードバックを得て、改善を図るプロセスがあり実践していますか？	すべての従業員からフィードバックを受け、改善を図る体制やプロセスがあり、実施記録もある	一部の従業員からフィードバックを受け、改善を図る体制やプロセスがあり、実施記録がある	一部のカテゴリにおいては、フィードバックを受け、改善を図る体制やプロセスがある	一部のカテゴリにおいて1年以内に仕組みを構築予定	対応できていない
	9. 監査および評価: ■ 法令要件、本規範の内容、および社会的・環境的責任に関連する顧客の契約上の要件への適合を確保するため、定期的な自己評価を実施します。	66	今後も本SAQ（自己評価シート）にご協力していただけますか？	行動規範の内容を理解した上で、提出期限内に実状を記載し、自己評価を提出する	提出期限内に実状を記載し、自己評価を提出する	自己評価に協力する	一部協力できない項目がある	自己評価に協力できない
	10. 是正措置プロセス ■ 社内外の評価、点検、調査、および審査によって特定された不適合をタイムリーに是正するためのプロセスを確立します。	67	労働者の人権、安全衛生、環境、倫理に関連する取り組みにおいて不備が特定された場合、適時に是正を行うためのプロセスがありますか？	社内外の是正要求があった場合に対応するための体制があり、即対応している	社内外の是正要求があった場合に期日を順守し、対応している	一部のカテゴリにおいては、社内外の是正要求があった場合に対応している	社外の是正要求があった場合に対応している	是正を行うためのプロセスがない
	11. 文書化と記録: ■ 規制の遵守、内部要件への適合、ならびにプライバシー保護のための適切な機密性を確保するための文書および記録を作成し、保持します。	68	機密情報に関して、文書や記録が維持・保持される仕組みがありますか？	文書やデータを特定し、規程に取り扱い方法を定め、年1回以上教育も実施している	文書やデータを特定し、規程に取り扱い方法を定めている。	文書やデータを特定し、取り扱いルールはある	取り扱い方法を1年以内に構築予定	機密情報に関する取り扱い方法は定めていない
	12. お取引先様の責任: ■ 自社のお取引先様に本規範の要求事項を伝達し、本規範への遵守を監視するためのプロセス確立に努めます。	69	「RBA行動規範」または「アルバック・グループお取引先様行動規範」の要求事項を、貴社の取引先に伝達していますか？	すべての取引先向けにWeb等で公開し、主要なお取引先様からは同意確認書を受領している	すべての取引先向けにWeb等で公開している	一部の取引先向けに伝達する文書を配布している	1年以内に取引先向けに伝達する手段を構築予定	伝達していない